

題材名「便利なインターネットの光と影」

目 標

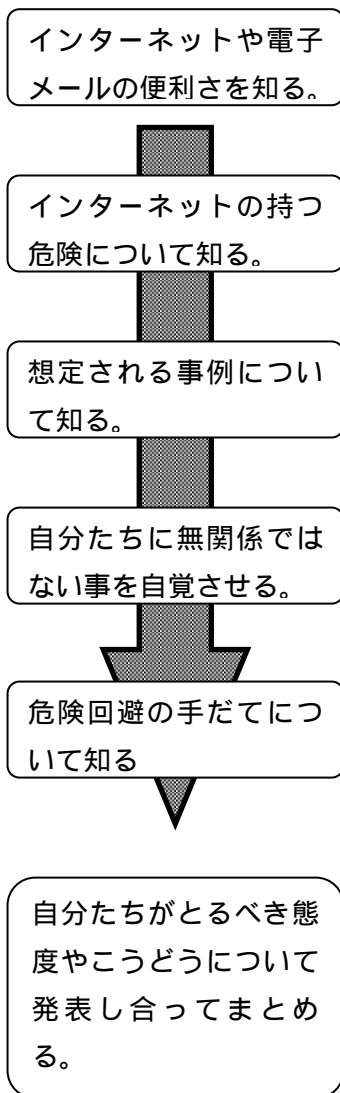
- ・ インターネットや電子メールの便利さを理解するとともに、その背景に潜むさまざまな危険についても知る。
- ・ インターネット利用に伴う危険にどう対処するかについて事例を通じて知る。

コンピュータを活用する利点

多くの図や資料を一斉指導の中で提示することによって、授業に集中させることができる。

資料を順に提示することで、それぞれの資料ごとに考える場面を設定出来る。

授業の流れ



ICT 活用場面

人権教育副読本『ほほえみ』に紹介されている情報社会の便利さとその背景にある危険について資料を一部分ずつ提示しながら授業を進めていった。

自分たちがそういう場面に遭遇したら、「どう感じるか」「相手がどう受け止めるだろうか」という事について意見を出し合った。

次に、そうした危険に対してどう対処するかという事例を紹介し実際の場面でどう行動するかについて知らせた。



成果と課題

高学年になると資料を冊子の形で提示すると、先回りして発表したり、分かっているというような態度で集中しにくい児童もいるが、今回のように少しずつ提示すると、全児童が同じペースで考えたり発表したりできるので、一斉指導形態での授業が効果的になる。

一方で、事前に資料作成等の時間を十分に確保する必要がある。

ICT 活用環境等

使用周辺機器	デスクトップパソコン、スキャナ プロジェクター
使用ソフト名	PowerPoint2002
使用教室	P C 教室